

地方独立行政法人福岡市立病院機構
平成23年度の業務実績に関する評価結果報告書

(抜 粋)

平成24年8月

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会

はじめに

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会は、地方独立行政法人法第28条の規定に基づき、地方独立行政法人福岡市立病院機構の平成23年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、本評価委員会において、平成22年11月10日に決定した「地方独立行政法人福岡市立病院機構業務実績評価の方針」及び「地方独立行政法人福岡市立病院機構年度業務実績評価実施要領」に基づき評価を行った。

地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 委員名簿

	氏 名	職 名
委員 長	尾 形 裕 也	九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座 教授
副委員 長	長 柄 均	福岡市医師会 副会長
委 員	津 田 泰 夫	福岡通信病院 院長
	丸 山 眞 紀 子	福岡県看護協会 副会長
	吉 水 宏	公認会計士

平成23年度の業務実績に関する評価結果報告

1 全体評価

評価結果及び判断理由

〈評価結果〉

平成23年度の業務実績に関する評価については、すべての小項目評価が「評価3」以上であることから、第1から第4の大項目評価はすべて「評価A」と判断した。

この大項目評価の結果を踏まえ、特に、平成23年度は、地方独立行政法人制度の特長を活かし、理事長を中心に両病院と本部事務局が一体となった経営体制を構築するなど、経営管理の徹底が図られたことや、両病院において着実に医療機能の高度化や地域の医療機関との連携強化に取り組み、結果として、平成22年度の実績を上回る医業収益を確保するなど、経営に係る目標値を達成したことから、平成23年度の業務実績は「全体として中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」と評価する。

〈判断理由〉

地方独立行政法人化に伴い、病院経営に係る権限が大幅に移譲されたところであるが、法人化2年目である平成23年度は、柔軟な職員採用や多様な契約手法の導入などの地方独立行政法人制度の特長を活かし、また、理事長、院長をはじめ職員一丸となつての努力の結果、さらに効率的・効果的な病院経営体制が構築されるに至っている。

また、年度計画に基づき、着実に医療機能の高度化と提供するサービスの向上を図るため、人材確保が困難な中において、大学病院への積極的なアプローチ等によって医師の確保を図るとともに、看護師や医療技術職等についても、採算性を確保したうえでの増員を行って組織の強化・充実を図っている。

こども病院・感染症センターについては、「地域周産期母子医療センター」として、地域の産科及び小児科と連携のうえ、周産期に係る高度医療を担い、福岡市民病院についても、「地域医療支援病院」として、地域医療に貢献するとともに、4疾病への対応を中心とした高度専門医療の充実や高度救急医療における循環器系疾患への対応強化を進めるなど、さらなる向上を図っている。

こうした取組みの結果、両病院ともに診療単価が上昇し、患者数の増加と相まって平成22年度の実績を上回る医業収益を確保しており、診療材料等の調達にかかる価格交渉の徹底などによる費用削減の取組み効果と合わせて収支もさらに向上し、経営に係る目標値を達成している。

項 目	評価 項目 数	ウエイトを 考慮した 項目数	小項目評価					大項目評価
			評価 5	評価 4	評価 3	評価 2	評価 1	
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	14	28		11	17			A 計画どおり進んでいる
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	5	13		11	2			A 計画どおり進んでいる
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	1	2		2				A 計画どおり進んでいる
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	2	4		2	2			A 計画どおり進んでいる
合 計	22	47		26	21			

全体評価にあたって考慮した内容

〈主な取り組みや特色ある取り組み〉

地域の医療機関を中心に積極的な病病連携・病診連携に努めながら、福岡市の医療施策として求められる高度専門医療、救急医療等を提供している。

こども病院・感染症センターについては、小児医療の基幹病院として、小児医療(高度・地域・救急)のさらなる充実を図るとともに、他の医療機関からの紹介患者を適切に受入れ、症状が安定した患者については、積極的に地域の医療機関へ逆紹介するなど医療連携の強化に努めている。また、医師・看護師をはじめ、医療ソーシャルワーカー等を増員し、診療体制・看護体制のほか、相談機能の強化・充実を図るとともに、「地域周産期母子医療センター」(平成23年4月認定)として、その役割を踏まえながら周産期医療のより一層の充実に取り組んでいる。

福岡市民病院については、平成23年4月に「地域医療支援病院」の承認を受け、地域の医療機関とのさらなる連携強化に努めたことにより、逆紹介率が目標値を上回るとともに、オープンカンファレンス等への参加者の拡大を図っている。また、医療法で定められた医療計画における4疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞及び糖尿病)への対応を中心に高度専門医療の充実を努め、救急医療についても脳卒中センターの機能強化や平成23年度から新たにCCU(冠動脈疾患集中治療室)4床を設置し、循環器系疾患への対応強化を図っている。さらに、外来部門を臓器別・疾患別の6つのセンターに再編し、チーム医療による良質な医療の提供を実践している。

〈特筆すべき取り組み〉

増収対策として、こども病院・感染症センターにおいては、看護師の必要数を確保し、小児入院医療管理料1の全病棟適用を維持するとともに、手術室の効率的な運用による手術件数の増加を図っている。福岡市民病院においては、地域の医療機関との連携強化による紹介率の向上や救急搬送件数、新規入院患者数及び手術件数等の増加、CCU4床の開設等により増収を図っている。

また、費用削減については、両病院ともに外部コンサルタントを活用した診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底や委託契約の見直しによる複数年契約の導入、ジェネリック医薬品の使用拡大等による費用削減に取り組んでいる。

この結果、両病院ともに、平成22年度の実績を上回る医業収益を確保し、費用削減の取り組みと合わせ、経営に係る平成23年度の目標値を達成している。

特に、福岡市民病院については、中期計画に基づく経営の効率化や健全化に取り組み、医業収支が、病院開設以来初の黒字化を達成するなど、経営改善が順調に進んでいる。

評価にあたっての意見、指摘等

良質な医療の実践の面で、福岡市民病院が肝臓がんや脳卒中、脊椎といった分野において、市内でも有数の治療実績を上げるに至るなど、高度専門医療への取り組みが高く評価される。

医療費のクレジットカード支払について検討、準備を短期間で行い、平成24年度当初から導入できたことは評価したい。

なお、病院経営にあたっては、診療報酬の改定など医療環境の変化に即した戦略的な企画立案により、さらなる経営改善を推進することが必要であり、今後、効率的なベッド・コントロールを行うための権限を持たせた専属のポスト設置など検討していただきたい。

現在のこども病院・感染症センターの老朽化・狭隘化が顕著となる中で、新たに「地域周産期母子医療センター」として周産期に係る高度医療に取り組まれていることは、評価に値するが、将来に渡って優秀な医師等を確保する観点からも、一日でも早い新病院の開院に向け努力していただきたい。

最後に、地方独立行政法人制度の特長を最大限に活かし、理事長を中心に職員が一丸となって経営改善に取り組んでおり、その成果及び努力を高く評価したい。

2 小項目評価

大項目	小項目	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置			
1 医療サービス			
(1) 良質な医療の実践	こども病院	3	「地域周産期母子医療センター」として周産期医療の充実に努めるとともに、入院患者数及び外来患者数において、前年度の実績を上回り、入院単価、外来単価などの年度計画における目標値を概ね達成したことから、「評価3」とする。
	福岡市民病院	3	4疾病への対応を中心とした高度専門医療の提供や、臓器別センター化の実施に伴うチーム医療による良質な医療の提供などを実践し、手術件数、救急搬送件数、新規入院患者数などにおいて、年度計画の目標値を上回ったことから「評価3」とする。 なお、肝臓がんや脳卒中、脊椎といった分野において、市内でも有数の治療実績をあげるに至るなど、高度専門医療への取組みが高く評価される。
	こども病院	3	地域医療連携室の機能充実や開放型病床への登録医の拡大といった地域医療機関との連携強化の推進に積極的に取り組むなど、年度計画に従って概ね目標が達成されており、「評価3」とする。
	福岡市民病院	4	地域医療支援病院として、地域医療機関との連携強化に努めたことにより、逆紹介率が、目標値及び22年度実績値を上回るとともに、オープンカンファレンスへの参加者数などが目標値を上回る成果をあげていることから、「評価4」とする。
(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	3	地域医療連携室の機能充実や開放型病床への登録医の拡大といった地域医療機関との連携強化の推進に積極的に取り組むなど、年度計画に従って概ね目標が達成されており、「評価3」とする。
	福岡市民病院	4	地域医療支援病院として、地域医療機関との連携強化に努めたことにより、逆紹介率が、目標値及び22年度実績値を上回るとともに、オープンカンファレンスへの参加者数などが目標値を上回る成果をあげていることから、「評価4」とする。
(3) 災害時等の対応		4	災害発生時に適切な対応が行えるよう体制等の整備に万全を期すとともに、マニュアルの整備や各種防災訓練を積極的に実施した。また、東日本大震災に当たっては医療チーム等の派遣を迅速に行ったことから、「評価4」が妥当である。
2 医療の質の向上			
(1) 診療体制の強化・充実	こども病院	3	看護師や麻酔科医、医療ソーシャルワーカーの増員など、年度計画に従って目標が達成されており、「評価3」とする。
	福岡市民病院	4	外来部門のセンター化による専門性の高いチーム医療の実践や、病棟看護助手など医療スタッフの増員、認定看護師等の育成など年度計画に従って目標を達成するとともに、着実に成果をあげていることから、「評価4」とする。
(2) 病院スタッフの確保と教育・研修		4	人材確保が困難な中において、年度計画に従って概ね目標が達成されるとともに、短時間勤務の雇用制度創設など働きやすい環境づくりの推進や、認定看護師等資格取得支援制度の活用等による教育・研修体制の充実が図られていることから、「評価4」とする。
(3) 信頼される医療		4	服薬指導や栄養食事指導、クリニカルパス適用率の全ての項目において年度計画の目標値を上回っており、着実に成果をあげていることから、「評価4」とする。
3 患者サービス			
(1) 患者サービスの向上	こども病院	3	患者ニーズを的確にとらえたサービスの提供や栄養管理体制の充実を図るなど、年度計画に従って目標が達成されていることから、「評価3」とする。 なお、医療費のクレジットカード支払について検討、準備を短期間で行い、24年度当初から導入できたことは評価したい。
	福岡市民病院	3	地域医療連携室の機能強化により、患者から大幅に増加した相談に迅速に対応するとともに、患者満足度調査における目標値を上回るなど患者のニーズを踏まえたサービスの向上に努めており、年度計画に従って目標が達成されていることから、「評価3」とする。 なお、医療費のクレジットカード支払について検討、準備を短期間で行い、24年度当初から導入できたことは評価したい。
(2) ボランティアとの共働	こども病院	4	積極的にボランティアの受け入れを行い、クリスマス・イルミネーションの実施や職員とボランティアとの共同作業による新たな事業にも取り組んだことから、「評価4」が妥当である。
	福岡市民病院	3	ボランティアとの共働により、院内コンサートやロボットショーを開催するなど、きめ細やかな患者サービスに努めたことから、「評価3」が妥当である。
4 法令遵守と情報公開		3	年度計画に従って概ね目標が達成されており、「評価3」とする。

大項目	小項目	評価	評価の判断理由・ 評価のコメントなど
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置			
	1 運営組織	3	看護部長を経営会議等のメンバーに加え、看護師が病院経営に参画できるよう改善が図られるなど、年度計画に従って概ね目標が達成されていることから、「評価3」とする。 なお、今後の病院経営にあたっては効率的なベッド・コントロールが必要であり、権限を持たせた専属のポスト設置を検討すべきである。
	2 収支改善		
	(1) 増収	4	看護体制の充実や手術件数の増加等により、医業収益において、平成22年度を上回る増収を達成したことから、「評価4」とする。
		4	新規入院患者数、救急搬送件数、手術件数の増加及び入院診療単価の上昇などにより、医業収益において、平成22年度を上回る増収を達成したことから、「評価4」とする。
	(2) 費用削減	4	職員の増員や高度医療の提供による診療材料費の増などによる費用増加の要素はあるものの、多様な契約手法の導入などによる徹底した費用削減が図られたことから、「評価4」とする。
	3 人事・給与	4	医師の人事評価制度を導入するとともに、給与費対医業収益比率が年度計画の目標値を上回るなど、着実に成果を上げていることから、「評価4」とする。
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置			
	経営基盤の確立	4	法人本部における「経営会議」において、月ごとの経営状況を検証するとともに、各病院においても院内幹部による運営委員会等において経営管理を徹底することにより、経営に係る目標値を上回る成果をあげていることから、「評価4」とする。 なお、地方独立行政法人制度の特長を最大限に活かし、理事長を中心に職員が一丸となって経営改善に取り組んでおり、その成果及び努力を高く評価したい。
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置			
	1 新病院に向けた取組	3	新病院整備等事業の再開後、速やかに事業契約の締結を行い、設計作業に精力的に取り組むなど着実に事業の進捗が図られていることから、「評価3」とする。 なお、現在のこども病院・感染症センターの老朽化・狭隘化が顕著となる中で、新たに「地域周産期母子医療センター」として周産期に係る高度医療に取り組まれていることは、評価に値するが、将来に渡って優秀な医師等を確保する観点からも、一日でも早い新病院の開院に向け努力していただきたい。
	2 福岡市民病院の経営改善の推進	4	質の高い医療の提供による増収を図るとともに、徹底した費用削減に努めた結果、開院後初となる医業収支の黒字化を達成するなど、経営改善の取組みが着実に進んでいることから、「評価4」とする。

<参考> 項目別評価基準

※小項目評価(5段階)

評価5	年度計画を大幅に上回って実施している
評価4	年度計画を上回って実施している
評価3	年度計画を順調に実施している
評価2	年度計画を十分に実施できていない
評価1	年度計画を大幅に下回っている

※大項目評価(5段階)

評価S	中期計画の実現に向けて特筆すべき進捗状況にある (評価委員会が特に認める場合)
評価A	中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる (すべての小項目が評価3～5)
評価B	中期計画の実現に向けておおむね計画どおり進んでいる (評価3～5の小項目の割合がおおむね9割以上)
評価C	中期計画の実現のためにはやや遅れている (評価3～5の小項目の割合がおおむね9割未満)
評価D	中期計画の実現のためには重大な改善すべき事項がある (評価委員会が特に認める場合)